

現役高校生が回答！「資産形成の授業」に関するアンケート 2024

資産形成の授業を受けた感想は、「楽しかった」が7割！

授業後は、自分の資産形成についてポジティブで自分ゴト化された感想が多い結果に現実的に資産形成を始めたい年齢の平均は「23歳」。4年生大学卒社会人1年目の年齢

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部が高校生エディター＆公式 LINE 登録者を対象に“資産形成の授業”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

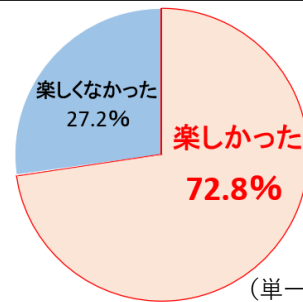
URL: <https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20240403000025/?vos=scrmot00083>

■2022年度から内容の充実化が図られた金融教育「資産形成の授業」への高校生のリアルな反応は…？

「楽しかった」が7割で、ポジティブが勝る結果に

Q.資産形成の授業を受けて楽しかったですか？

2022年度からの新学習指導要領に盛り込まれた金融教育。それを受けて「資産形成の授業」がスタートしました。内容は、家計管理とライフプランニング、保険について、NISAや投資といった資産形成、また金融トラブルなど多岐にわたり充実しています。一方、高校生にとっては身近に感じられないものもあります。そこで、実際に授業を受けた現役高校生に授業の率直な感想を聞くと、「楽しかった」が7割でポジティブな様子が感じ取れました。



(単一回答/n=589)

■授業後の自分の資産形成への感想は、“やってみたい”“早く始めるとよさそう”と自分ゴト化された様子

“現実的に資産形成を始めたい”平均年齢は「23歳」。自ら稼いで自由にお金を使えるようになったら

高校生にとって、まだ自分の自由になるお金はそう多くないと思いますが、そんな中でも、資産形成の授業を受けた後の自らの資産形成に関する感想 TOP5を見ると、「少額からでもできることをやってみたい」、「真剣に考えたい」といった“やってみたい”という、しっかりと当事者の立場にいる感想が上位にランクイン。また、「将来への不安が少し軽減された」というポジティブな感想も見られました。

さらに、現実的に資産形成を始めたい年齢を聞くと、平均年齢は「23歳」で、四年制大学卒業後の社会人1年目の年齢となりました。自分で稼いだお金の用途を、自ら自由に決められる年齢であり、高校生にとっては“最も近い大人”の年齢なのではないでしょうか。

Q.授業を受けて自分が資産形成（備える、貯める、増やす）をすることについてどう思いましたか？

順位	自分の資産形成に関する感想 TOP5	割合
1	少額からでも試せる方法があると知って自分もやってみたいと思った	36.5%
2	将来の資金を真剣に考えようと思った	34.3%
3	「自分で何か対策できるかもしれない」と将来への不安が少し軽減された	30.9%
4	投資は早くから始めるとよさそうだったと思った	25.1%
5	使うだけでなく増やす楽しみがあると気づいた	16.1%

(複数回答/n=589)

■編集長コメント

身近な生活行動の改善から大人同様の資産形成行動まで、

高校の授業がきっかけとなって高まる金融リテラシーやキャリアイメージ



『スタディサプリ進路ブック』
編集長
金剛寺 千鶴子
(こんごうじちづこ)

お金を「使う」「備える」「貯める・増やす」ことについて、「興味が湧いた」「将来のお金の計画に役立ちそうだった」「さまざまな増やす手段があることが分かった」など、前向きに捉えている様子が浮かび上がる結果となった今回の調査。「衝動買いをやめた」「無駄遣いをやめた」のような日々の生活改善から、実際に「NISAを始めました」「FPの資格を取るべく勉強を始めた」といった大人同様の資産形成・ライフプランニングへの意識の向上まで、学校での授業がきっかけとなって、興味や関心が具体的な行動にまでつながっている高校生も多く見られました。また、数は多くはないものの、経済学部や商学部への興味を持ったり、「金融関係の仕事もありだなと思った」のような、将来の進路への影響も見られました。

一方、「お金の授業を受けて、関連することを保護者の方と何か会話した？」の問いに対しては、約85%の高校生が「NO」と回答。学校でせっかく高まった金融知識や資産形成に対する意識が一過性のものとならないように、最も身近な大人である保護者と、家庭内でも「お金の話」をすることで自分ゴトとして捉えられ、より金融教育の成果が真に役立つものとなるのではないのでしょうか。

【アンケート概要】

- 調査時期：2024年3月7日(木)～3月10日(日)
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査実施機関：株式会社リクルート
- 調査対象：資産形成の授業を受けたことがある全国高校生男女
(『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者)
- 有効回答数：589件 (男子169件、女子409件、性別を選択しなかった人11件)

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

(詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>)

■“スタサブ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサブ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の情報誌『スタサブ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20240403000025/?vos=scrmot00083>>

また、スタサブ編集部では、毎月LINEでアンケートを配信し、読者の高校生・保護者のみなさまから頂くご意見を記事に反映しています。現在も、今後のより良い記事制作に向けてLINEお友達を絶賛募集中です！ご興味をお持ちの方は、ぜひご登録ください。

<LINE URL：<https://lin.ee/LbRvueT>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>